

【鵜川、厚真川、入鹿別川】
【沙流川、日高門別川、波恵川、慶能舞川、厚別川】
の減災に関する取組方針(案)について

青字：北海道管理河川の参画に伴い追記した箇所（以降、追記箇所）

5年間で達成すべき目標及び目標達成に向けた3本柱

①短時間の水位上昇により迅速な避難を要する

- ・鵜川は、平成4年洪水では、はん濫注意水位から最高水位まで約2m上昇するのに約6時間。
- ・上流部では、占冠村市街が山に囲まれた盆地に位置することに加え、山間から流入する中小河川により、大規模洪水時には市街地、低平地の田畑などが広範囲に浸水するおそれがある。
- ・北海道が管理する厚真川、入鹿別川においては、降雨が河川に到達するまでの時間が短く、水位上昇量が大きい特徴があり、一度水が溢れると河川周辺に甚大な被害が発生するおそれがある。
- ・水位上昇が速いため、迅速な情報収集・伝達が必要。

②町内・村内の各居住地区が分断、孤立する

- ・鵜川に沿ったむかわ町市街地と穂別市街地の上下流を結ぶ道路（道道74号穂別鵜川線等）が浸水・土砂崩れにより通行止めになることが多く（平成18年8月洪水等）、1m以上浸水するおそれがある。
- ・鵜川は、山間部を細長く流れ、狭隘な河岸段丘上の平地が主な生活の場。大規模水害時には、その平地の大半が浸水し、各居住地区が分断、孤立するため、能動的な避難行動を促すための取組や、適切な場所への避難誘導が必要。
- ・鵜川では近年、平成4・13・15・18年洪水のように計画高水位を超える洪水が頻発している。分断、孤立する各居住地区における迅速な水防活動が必要。
- ・厚真川では、中流部に厚真町市街地、下流部に上厚真市街地が形成。

③氾濫による基幹産業（高収益農作物等）への影響

- ・家屋のほか、稲作に加えて急成長しているハウス栽培（レタス・トマト等）等の町の基幹産業への影響が大きく、社会経済活動の早期復旧に向けた効率的な排水活動が必要。



H4. 8穂別地区市街部浸水



H13. 9道道米原田浦線冠水



H18. 8道道穂別鵜川線土砂崩れ



H28. 8入鹿別川内水氾濫

鵜川、厚真川、入鹿別川の水害での主な特徴

青字：追記箇所



H28.8 鵜川支川穂別川
農地冠水



H28.8 厚真川
出水状況



H28.8 鵜川支川穂別川
家屋浸水



H28.8 厚真川
農地冠水



H28.8 入鹿別川
内水氾濫

■ 5年間で達成すべき目標

鵜川、厚真川、入鹿別川の大規模水害に対し

「洪水による交通途絶、集落の孤立化から地域を守る」

「迅速・確実な避難を目指す」 「基幹産業への影響を最小化にする」

※大規模水害・・・想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※交通途絶、孤立化・・・山間部を細長く流れる狭隘な生産空間の地形特性から、洪水氾濫に伴う道路の交通途絶や分散している各居住地区の集落が孤立する状況

※地域を守る・・・各居住地区の情報の収集・伝達を行うとともに、堤防決壊を遅らせるための水防活動の強化や、避難行動に備えた備蓄資材の充実等を図る

※迅速・確実な避難・・・流域住民が予め避難経路・避難場所を把握し、事前及びリアルタイムの防災情報等入手し、避難勧告等に基づき避難を行う

■ 上記目標達成に向けた3本柱の取組

鵜川、厚真川、入鹿別川において水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水氾濫を未然に防ぐ対策に加え、下記の取り組みを実施。

1. 分断・孤立する地域特性や迅速かつ確実な避難のための**避難行動に関する取組**
2. 社会経済被害軽減のための的確な**水防活動に関する取組**
3. 社会経済活動の**早期復旧のための取組**

沙流川、日高門別川、波恵川、慶能舞川、厚別川の水害での主な特徴

青字：追記箇所

①短時間の水位上昇により迅速な避難を要する

- ・沙流川は、平成15年洪水では、はん濫注意水位から最高水位まで約4.2m上昇するのに約8時間。
- ・上流部では、日高町（日高地区）が山に囲まれた盆地に位置することに加え、山間から流入する中小河川により、川に近接する住宅、畑等が広範囲に浸水するおそれがある。
- ・北海道が管理する日高門別川、波恵川、慶能舞川、厚別川においては、降雨から流出までの時間が短く、時間あたりの水位上昇量が大きい特徴があり、一度水が溢れると河川周辺に甚大な被害が発生するおそれがある。
- ・水位上昇が速いため、迅速な情報収集・伝達や、上下流で連携した水防活動が必要。

②一度氾濫すると浸水が広範囲に生じる

- ・沙流川は、山間部を細長く流れ、狭隘な河岸段丘上の平地が主な生活の場。大規模水害時には、その平地の大半が浸水し、特に、平取町から日高町富川までつながる一つの氾濫域のため広い区間で浸水し、河川に沿った道路（国道237号等）は1m以上浸水するおそれがあることから、能動的な避難行動を促すための取組や、適切な場所への避難誘導、迅速な水防活動が必要。
- ・日高門別川の下流部に門別市街地、厚別川の下流部に厚賀市街地が形成されている。

③氾濫による基幹産業（高収益農作物等）への影響

- ・家屋のほか、稲作に加えて成長を続けているハウス栽培による「トマト」、**軽種馬生産**等の基幹産業への影響が大きく、社会経済活動の早期復旧に向けた効率的な排水活動が必要。



H15. 8沙流川下流の状況



H15. 8沙流川下流の状況



H18. 8平取町荷菜地区の浸水状況



H28. 8沙流川上流の状況

沙流川、日高門別川、波恵川、慶能舞川、厚別川の水害での主な特徴



H28. 8 沙流川・パンケヌシ川
氾濫・道路被災状況



H28. 8 沙流川支川シラウ川
橋台背面土の流出



H28. 8 日高門別川
河岸欠壊



H28. 8 慶能舞川
内水氾濫



H28. 8 波恵川
出水状況



H28. 8 慶能舞川
内水氾濫 (牧場浸水)



H15. 8 厚別川
家屋・農地浸水

■ 5年間で達成すべき目標

沙流川、日高門別川、波恵川、慶能舞川、厚別川の大規模水害に対し
「迅速・確実な避難を目指す」「広域的な氾濫から地域を守る」
「基幹産業への影響を最小化する」

※大規模水害・・・想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※迅速・確実な避難・・・流域住民が予め避難経路・避難場所を把握し、事前及びリアルタイムの防災情報等を入手し、避難勧告等に基づき避難を行う

※広域的な氾濫・・・山間部を細長く流れる狭隘な生産空間の地形特性から、特に平取町から日高町富川までの広域的な区間で氾濫が広がる状況

※地域を守る・・・上下流の自治体等の連携した情報の収集・伝達を行うとともに、堤防決壊を遅らせるための水防活動の強化や備蓄資材の充実、高速な氾濫流による家屋流出に備えた立ち退き避難の促進等を図る

■ 上記目標達成に向けた3本柱の取組

沙流川、日高門別川、波恵川、慶能舞川、厚別川において水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水氾濫を未然に防ぐ対策に加え、下記の取り組みを実施。

1. 広域的に氾濫する地域特性や迅速かつ確実な避難のための**避難行動に関する取組**
2. 社会経済被害軽減のための的確な**水防活動に関する取組**
3. 社会経済活動の**早期復旧のための取組**

今後の具体的な取組項目の検討について

- 現状の取組状況等
- 概ね5年で実施する取組
- フォローアップ

鵜川及び沙流川、近傍二級河川流域における減災対策について、以下の項目で各構成員が現在実施している取組及び、取組に対する課題を抽出。

(減災に関する取組方針(案) 4. 現状の取組状況等) (別紙1)

※アルファベットは、概ね5年で実施する取組項目との対応関係を示す。

①情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング **A**
- ・避難勧告等の発令基準 **B C**
- ・避難場所等の設定 **D E F G H**
- ・住民等への情報伝達の体制や方法 **I J**
- ・避難誘導體制 **K**

②水防に関する事項

- ・河川水位等に係る情報提供 **L**
- ・河川巡視区間 **M**
- ・水防資機材の整備状況 **N**
- ・水防活動の実施体制 **O**

③氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

- ・排水施設、排水資機材の操作・運用 **P Q**

④河川管理施設の整備に関する事項

- ・堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備状況 **R**

概ね5年で実施する取組

青字：追記箇所

取組及び、取組に対する課題を踏まえ、氾濫が発生することを前提として、社会全体で、常にこれに備える「水防災意識社会」を再構築することを目的に、**各構成員が取り組む主な内容を取りまとめた。**
 (減災に関する取組方針(案) 6. 概ね5年で実施する取組) (別紙2)

ハード対策の事例

河道掘削・ダム建設等



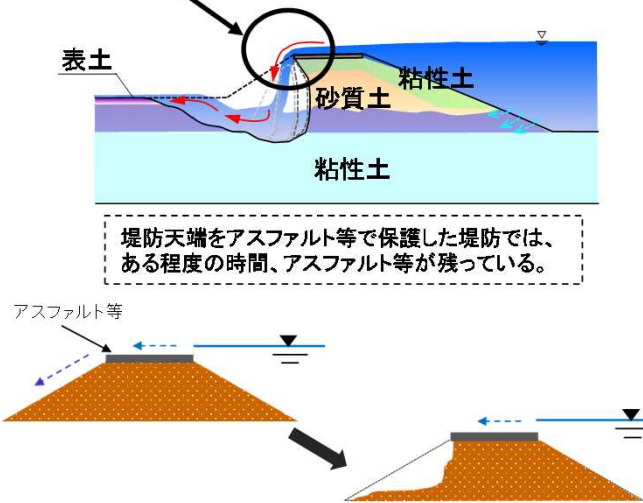
河道掘削



ダム建設

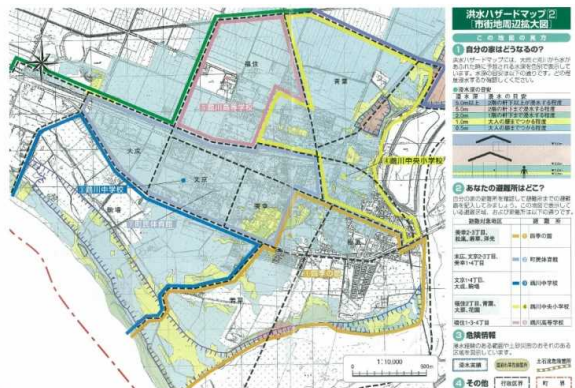
堤防天端の保護

○ 堤防天端をアスファルト等で保護し、法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



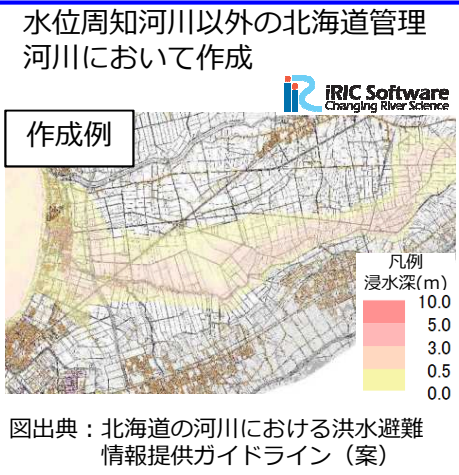
ソフト対策の事例

ハザードマップの作成 (想定最大規模対応)



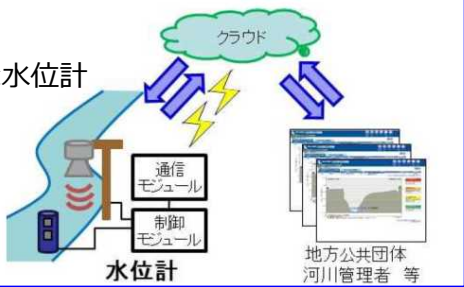
図は現在のむかわ町洪水ハザードマップ

洪水氾濫区域図の作成



危機管理型水位計の設置

洪水時に特化した低コストな水位計



図出典：国土交通省 危機管理に対応した水位観測検討会 第3回資料

タイムライン作成



グループワークによる検討状況 (平取町)

排水訓練

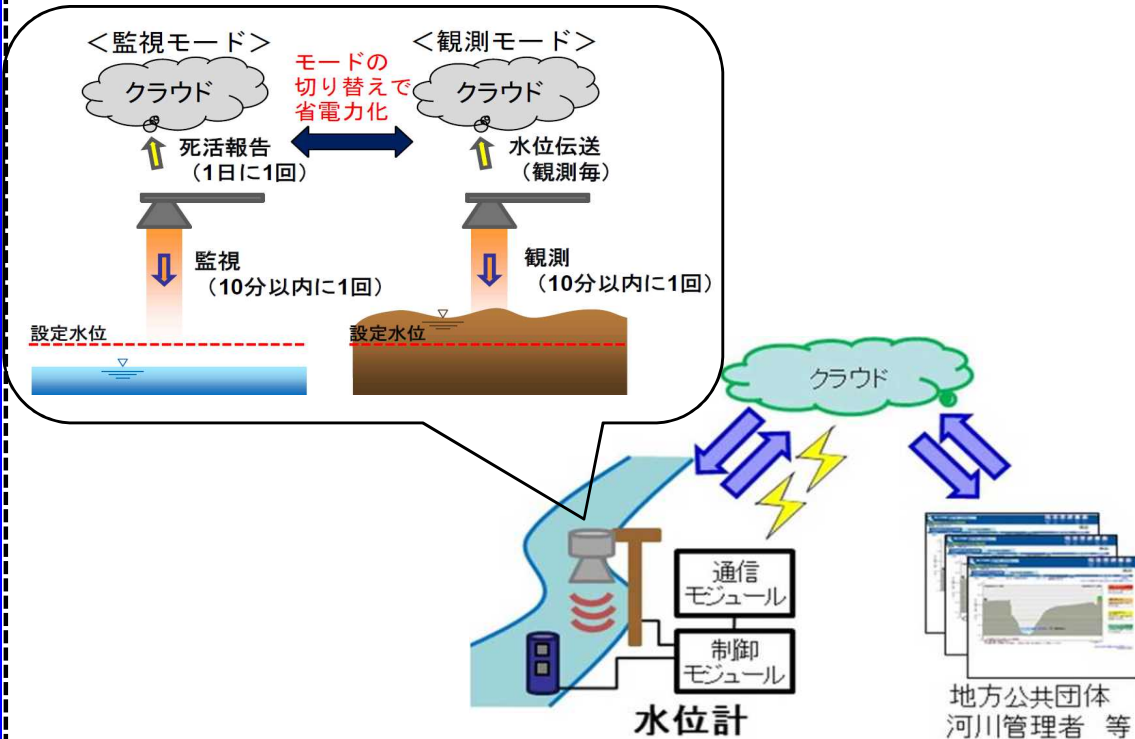


危機管理型水位計の設置

- ・避難の状況判断や河川計画等の策定のための水位計の設置が進んでおらず、洪水時における河川水位等の現況把握が困難。
- ・水位把握の必要性の高い中小河川において、洪水に特化した低コストの水位計 (危機管理型水位計) を設置。水位観測網の充実を図り、近隣住民の避難を支援。

【危機管理型水位計の特徴】

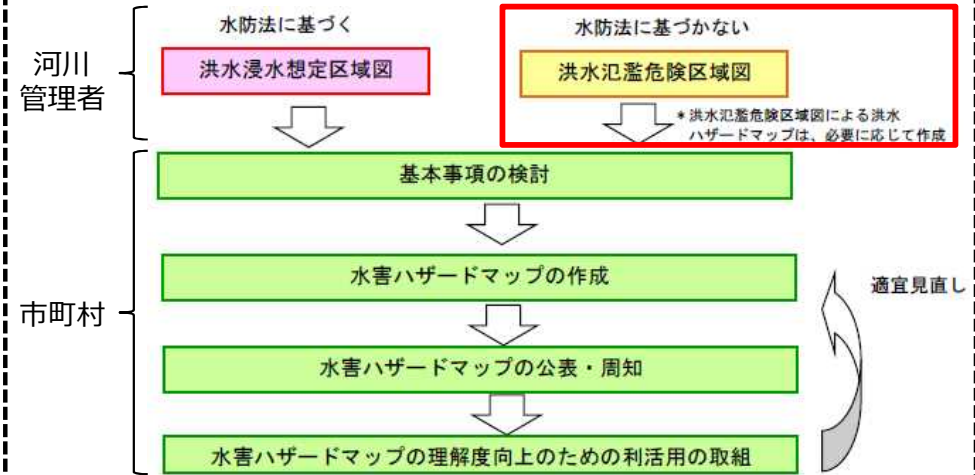
- 長期間メンテナンスフリー
- 省スペース (小型化)
- 初期コストの低減
- 維持管理コストの低減



出典：国土交通省 危機管理に対応した水位観測検討会 資料、水管理国土保全局 報道発表資料を基に作成

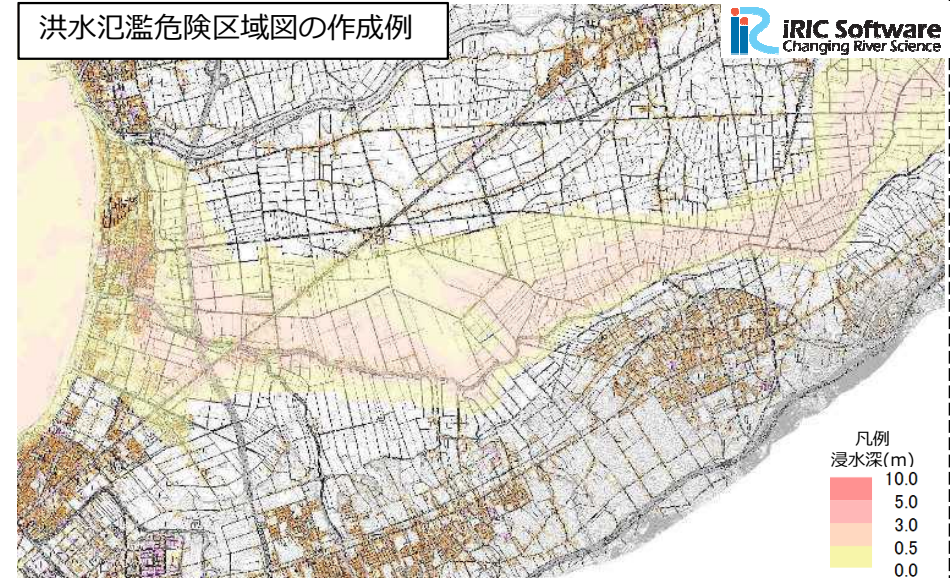
洪水氾濫区域図の作成

- ・水位周知河川以外の河川について、簡易な方法により洪水氾濫危険区域図を作成し、各流域の市町村長へ情報提供を予定。



参考：(国土交通省 水害ハザードマップ作成の手引き 平成 28 年 4 月)

洪水氾濫危険区域図の作成例



出典：北海道の河川における洪水避難情報提供ガイドライン (案)